

科学者委員会 研究計画・研究資金検討分科会
臨床医学分野の大型研究計画評価小分科会（第1回）
議事要旨

日時 平成31年4月19日（金）13:00～14:30
会場 日本学術会議 5-B会議室
出席者 青木委員、戸田委員、古谷委員、池田委員、稲葉委員、辻委員、原委員、渡辺委員、掛地委員（ビデオ）、山下委員（ビデオ）
事務局 犬塚参事官、高谷審議専門職、大澤審議専門職付

配布資料

- 資料1 第1回評価小分科会での確認事項
- 資料2 マスタープラン2020策定に関わる利益相反排除の方針
- 資料3 学術大型研究計画策定における審査・評価プロセスについて
- 資料4 評価小分科会及び委員の役割
- 資料5 マスタープラン2017において重点大型研究計画に選定された区分Ⅰの研究計画で、継続条件を満たしかつ継続を希望する研究計画の継続審査について
- 資料6 区分Ⅱの研究計画の適否のチェックについて
- 資料7 臨床医学分野の応募提案一覧【非公開資料】

- 参考1 小分科会委員名簿
- 参考2 第24期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針
- 参考3 公募要領
- 参考4 学術研究領域コード表

議 題

1) 役員の選任について

互選により、委員長として戸田委員が、副委員長として渡辺委員が、幹事として掛地委員及び池田委員がそれぞれ指名され、出席委員から承認された。

なお、議事要旨については各委員で内容確認後、委員長に一任すること、また、委員間でメールアドレスを共有することが承認された。

2) 利益相反についての考え方の確認

研究計画・研究資金検討分科会委員でもある古谷委員より、審査における利益相反についての考え方の説明があった。

出席委員の利益相反の状況を確認し、適切に対応することとした。また、欠席委員に関しては評価の際のチェックシートで確認することとなった。

3) 評価小分科会における審議事項等

研究計画・研究資金検討分科会委員でもある古谷委員より、資料について説明があった。

大型研究でなければできない研究課題かどうかを、当小分科会の評価指標に加えることとなった。

4) 取りまとめの審議の方法の決定

本小分科会では、各委員による評価の後に行う、区分Ⅰ（学術研究領域で融合領域（コード32-1）を選択した提案を除く）の順位づけの審議の方法を、以下とすることとした。

委員間でメール等による議論を行ったうえで、最終的な判断は役員へ一任とする。

また、副分野として、本小分科会の担当する分野を指定されている提案について、副分野での評価を依頼するか議論し、依頼しないこととした。

5) 今後のスケジュール

資料に沿って確認が行われた。

文責 池田和隆（幹事）